

いろはにほへと

御霊に満たされなさい。

主に向かって、心から賛美しなさい。

いつでも、すべてのことについて、

神に感謝しなさい。

(聖書・エペソ人への手紙 5章 18~20節)

これは、私たちの教会・阿武山福音自由教会の、2018年の【年間聖句】なんですよ。

その後、お変わりございませんか？

- 何人かの方からは、親しい方が亡くなられたとの、お葉書をいただいています。

慎んで、哀悼の意を表したいと思います。

- 多くの方々から、クリスマスカードや年賀状をいただき、ありがとうございます。

一枚一枚 うれしく拝見させていただきながら、それぞれ ご活躍の様子や近況を知ることが出来、感謝いたします。

- 今年の初日の出は、どうだったでしょうか。

私は、毎年、初日の出は、高槻城跡公園にある「高山右近像」の所で迎えています。

前日の12/31(日)が、夕方から雨がちでしたので、初日の出は ちょっと無理かな？

でも、雨が降っていなければ、いつも通り出かけて行って、祈りの時を持とう ー と思っていたのですが

年が明けて、元日の朝6時半、起きて外を見てもみると、雲は多めですが、晴れています。これなら、初日の出が見られそうです。急いで準備して、出かけて行きました。

2018年の初日が、7時15分に姿を見せてくれました。

毎年見ている光景のようですが、2回と同じ姿はありません。まさに、一期一会の景色です。

今年も、今年こそ、よき一年となりますように。

右近さんも祈られた、当時の言葉で、【パアテル・ノステル 主の祈り】を祈りました。

カトリック高槻教会に立ち寄り、元朝の聖堂で、祈りと、リコーダーの初弾きで、右近さんのことを歌った「主こそ わが光」「祈りの生涯」そして「いつくしみ深き」を賛美しました。残響が すばらしいです。

聖堂の外に出ますと、「祈る高山右近像」に初日が当たり、長〜い影の右近像が出来ていましたヨ！

- 家に帰って、おいしくお雑煮をいただいて、11時からもたれる 阿武山福音自由教会での「元旦礼拝」に、夫婦で出かけて行きました。

礼拝メッセージは、【 聖書いろはかるた（新約）】。私が語らせていただきました。「いろはうた」47文字に「京」の字を加えた48文字に合わせて、新約聖書の48個所の言葉から、世の人達の知恵ではない、神の知恵・聖書はどう語っているのかをみていきました。

- 子ども達・孫たちも、それぞれ 元気にすごさせていただいています、感謝です。

昨年3月に、次女が結婚に導かれ、私たちの家族は、子ども達4カップル8人と孫たち4人。そして、私たち夫婦を入れて14人となりました。

毎年1月3日に、恒例の[新年食事会]を持っていますが、今年も全員集まり、おいしくて・楽しい時をもちましたヨ。妻が早めから時間をかけて、みんなが喜びそうな「おせち料理」を準備してくれました。

黒豆の煮物・栗きんとん・金時芋・田作り（ごまめ）・だて巻き・いりこナッツ・いか人参・お漬物5種・いかの南蛮漬・龍の目揚・煮物8種・海老の養老煮・鶏肉の松風焼・豚の角煮・ローストビーフ。

大盛りのお寿司3皿も加わって、楽しく おしゃべりしながら、1時間半ほどの間に、ほとんどの物がなくなっていました。

それでも 残ったものは、お土産に、各子ども達の家庭に持って帰ってもらいました。

- 昨年は、【高山右近 列福年】でした！ 高山右近が、「福者」に列せられました。

2017年2月7日(火)、高山右近「列福式」が、大阪城ホールでもたれ、1万人の方々が集われて、お祝いの時がもたれました。

恐縮いたしましたが、私たち夫婦も招待していただきました。

そして、その1か月後の3月1日（水）～6日（月）まで、多くの方々の協力をいただいて、高山右近ゆかりの高槻で、【高山右近フェスタ】を開催することが出来ました。

「高山右近劇場」の公演（「高山右近物語」の語りや、紙芝居・邦楽演奏・女性コーラスなど）。世界で初めての「高山右近美術展」では、高山右近をテーマ・題材にした39点の作品が寄せられ壮観でした。二度と、これだけの内容のものは持てないだろうと思っています。

もう一つの大きな取り組みは、11月16日（木）～18日（土）にもたれました

【全国かくれキリシタン研究会 大阪・河内大会】の開催でした。

河内キリシタンと、その後 江戸時代の大禁教下、隠れる形で信仰を続けていった人達に焦点をあてた研究大会で、多くの方々との貴重な出会い・学び・交わりを経験させていただきました。

この2つのビッグイベントの責任の一端を担わせていただき、1年以上前からの同時並行の準備でしたので、なかなか大変なことでしたが、その分、収穫も大きく、一番恵まれたのは私だったように思います。

● ホームページ「高山右近研究室・久保田へようこそ」や「高山右近研究室のブログ」も、多くの方々が ご覧いただいているようで、感謝です。

高山右近さんを通じて、インターネットによって、出会いがあり・ネットワークが広がり・つながりが強められ・研究が深められていくことは、貴重な体験であり、感謝しています。

新しい年・2018年は、私たち夫婦にとって、77歳の「喜寿」の年になります。

どのような一年になるのでしょうか？ 楽しみにしています！

本年も、よろしくお祈りします。

神の祝福が豊かにありますように。 God bless you , God bless us !

主の年（A.D.） 2018年1月

久保田 典彦

忠子